





代表幹事	事務局			起案者
	事務局長	合議		
				
起案	2022年	3月	31日	公 印
決裁	2022年	3月	3日	
施行	年	月	日	
指示事項又は意見				
件名	補助事業等実績報告について			
<p>標記の件について、補助事業年度の終了に伴い、米子市長に対し、下記のとおり補助事業の実績報告をいたしたく伺います。</p>				
記				
1 交付決定日	令和3年6月28日（人起第400号-2）			
2 交付決定額	320,000円			
3 補助金受領日	令和3年7月7日（概算払）			
4 精算額	320,000円			
5 実績報告書	別紙（案）のとおり			

案

令和4年3月31日

米子市長 伊 木 隆 司 様

補助事業者等 米子市東町161番地2
米子市人権問題企業連絡会
代表幹事 佐 伯 祥 一
電話番号 23-5416

補 助 事 業 等 実 績 報 告 書

令和3年6月28日付け人起第400号-2で交付決定の通知のありました補助金等に係る補助事業等の実績につきまして、米子市補助金等交付規則（平成17年米子市規則第46号）第18条の規定により、次のとおり報告します。

記

- | | | |
|---|-----------------------------------|----------|
| 1 | 補助金の交付決定額 | 320,000円 |
| 2 | 補助金等の精算額 | 320,000円 |
| 3 | 補助金等の既受領額及び受領日
概算払（令和3年7月7日受領） | 320,000円 |
| 4 | 補助事業の実施期間
令和3年4月1日～令和4年3月31日 | |
| 5 | 添付書類
(1) 事業報告書
(2) 収支決算書 | |

2021年度事業報告

米子市人権問題企業連絡会は、1996年の設立以来、会員企業相互の連携を密にするとともに、企業内はもちろん、社会に人権を定着させるための様々な取り組みを進めてまいりました。依然として、同和問題をはじめとするさまざまな人権課題を解決できない状況が続きますが、各企業には、従業員・顧客の人権を尊重した企業体質の構築や企業倫理としてのコンプライアンスの実践など、ますますの努力が求められています。各企業はその社会的責任をしっかりと自覚し、人権問題に対する正しい理解と認識を深めなければなりません。

2021年度も新型コロナウイルス感染症が前年度以上に拡大し、県内外の各種集会や研修会が中止ないし開催方法の変更など大きな影響を受けました。当連絡会の事業につきましても、中止ないし開催方法等を変更せざるを得ませんでした。企業内研修をはじめ各種研修会を開催し、企業トップから従業員一人ひとりの人権意識の高揚を図ることで、差別のない明るい職場づくりと公正採用選考の推進等に努めてまいりました。

年度末になりましたが、3月18日から31日にかけて、人権問題研修会とトップ及び担当者等研修会を録画配信で開催しました。

人権問題研修会では、XXXXXXXXXXで、発達障がいの当事者であるXXXXXXXXXXさんに「個性を大切にすること～僕にできること、そしてあなたにできること～」と題して、当事者の目線からの特性等のご説明があり、障がいの有無に関わらずそれぞれの個性を尊重すること、合理的配慮の必要性についてお話いただきました。

またトップ及び担当者等研修会では、XXXXXXXXXXさんに「生きることの、もうひとつの意味～ハンセン病小説『あん』で伝えたかったこと～」と題して、お話いただきました。ハンセン病に関わる差別のお話でしたが、どのような環境にあっても人はみな生きる意味がある、尊重される権利があるというお話でした。

その他、全国集会も録画やオンライン配信となりましたが、「部落解放・人権西日本夏期講座」「部落解放研究全国集会」「全国企業連絡会全国集会」「人権啓発研究集会」等に多数の方にご参加いただき、人権問題の解決に向けた学習と交流を深め、資質の向上を図ることができました。

「人権尊重社会を実現する鳥取県研究集会」は、西部は書面開催となりましたが、差別解消と人権啓発に向けての取り組みなどを学ぶことができました。

「第47回米子市人権・同和教育研究集会」は録画配信となりましたが、個人を尊重せず集団を対象に非難するといった差別の根幹のお話や、コロナ禍における障がいがある方の状況のお話を伺い、人権意識を深めることができました。

機関紙「人企連だより」で活動の様子を会員企業の皆様にお知らせいたしました。

2021年度末の会員数は70社ですが、今後とも新会員の獲得と魅力ある企業活動の充実のため、会員企業が共に手を携え邁進していきたいと思います。

2021年度事業日誌

(敬称略)

月	日	事業内容	場所	参加者
4	13	2017年度会計監査会	米子市役所	会計監査
4	27	第1回幹事会 ・総会議案について ・意見交換	ANAクラウン ラザホテル米子	幹事
6		総会 ・2020年度事業報告 ・2020年度収支決算報告及び監査報告 ・2021年度事業計画(案)について ・2021年度収支予算(案)について ・役員を選出(案)について	書面開催 (21日付承認)	
6	17 18	第46回部落解放・人権西日本夏期講座 ・講演「コロナ禍における同調圧力」 佐藤直樹(九州工業大学名誉教授・評論家) ・講演「被爆者の声と核兵器禁止条約が世界を変える」 島山澄子(ピースポートスタッフ) ・講演「ヒロシマの調べ～被爆ピアノ平和コンサート」 矢川光則・谷岡宥美・根津彰子(ピアニスト) ・講演「広島県における部落解放運動」 岡田英治(部落解放同盟広島県連合会委員長) ・講演「仏教経典における差別表現」 沖 和史(種智院大学名誉教授)	オンライン配信 (広島県福山市)	6社 12名
		ほか		
7		新規採用者研修会 鳥取県新型コロナ警戒事態宣言発令のため中止		— —
8	3	第46回人権尊重社会を実現する鳥取県研究集会 ・講演：“いま、ここ”を知るために～ドキュメンタリー映画を 上映する理由～ 講師：坂田かおり(部落解放同盟西部地区協議会女性部長) ・実践報告：いきいきフェスタに関わってわかったこと、そし て願い～人権劇団の活躍と人権啓発の仕掛け～ 講師：湯原剛文(五千五区地区推進協議会)	書面開催	集計外
9	30	三市人企連情報交換会 ・各市同企連・人企連の活動状況について ・意見交換	倉吉市役所	代表幹事 事務局

月	日	事業内容	場所	参加者
1	1 9 ～ 3 0	部落解放研究第54回全国集会 ・記念講演「新型コロナウイルス問題と人権」 奥田 均（近畿大学名誉教授） ・狭山事件の再審実現にむけたアピール 石川一雄・石川早智子・中北竜太郎（再審弁護団事務局長） ・特別報告「鳥取ループ・示現舎裁判闘争の取り組みについて」 中井雅人（弁護士）・片岡明幸（部落解放同盟） ほか	録画配信 （北九州市）	10社 26名
1	2 1 0	第38回同和問題に取り組む全国企業連絡会全国集会 テーマ「人権感覚をアップデート！ ～福岡からあかるい明日に向かって～」 ・記念講演「部落解放運動の歴史」 組坂繁之（部落解放同盟福岡県連合会執行委員長） ・記念講演「思いやりで社会を変える～飲酒運転撲滅への願い」 山本美也子（NPO 法人はあとスペース代表理事）	オンライン （福岡市）	5社 10名
1	2 1 ～ 2 3	第47回米子市人権・同和教育研究集会 ・講演「ネット上の部落差別 ～部落差別とヘイトスピーチは関係ない？～」 金 尚均（龍谷大学教授） ・講演「誰も取り残さない社会へ ～コロナ禍の経験をふまえて～」 松波めぐみ（大阪大学非常勤講師）	録画配信	集計外
2	8 ～ 2 2	第36回人権啓発研究集会 ・リレー報告「インターネット上における部落差別と闘う！」 「鳥取ループによる差別講演動画配信事件」ほか ・分科会「差別解消に向けた取り組みと差別の法改正の動向」 ほか	録画配信 （和歌山市）	8社 21名
3	1 8 ～ 3 1	人権問題研修会 演題：個性を大切にすること ～僕にできること、そしてあなたにできること～ 講師：██████████（██████████）	録画配信	14社 21名 以上
3	1 8 ～ 3 1	トップ及び担当者等研修会 講演：生きることの、もうひとつの意味 ～ハンセン病小説『あん』で伝えたかったこと～ 講師：██████████	録画配信	15社 22名 以上
3	3 1	人企連だより発行		

2021年度収支決算

(1) 一般会計収支決算

収入の部

(単位：円)

費 目	予算額 (A)	決算額 (B)	比較増減 (B-A)	決 算 額 の 内 容
1 会 費	0	0	0	2021年度は徴収せず
2 雑 入	7,981	12	△ 7,969	預金利息
3 繰越金	1,592,019	1,592,019	0	前年度繰越金
合 計	1,600,000	1,592,031	△ 7,969	

支出の部

(単位：円)

費 目	予算額 (A)	流用額 (B)	決算額 (C)	比較増減 (C-(A+B))	決 算 額 の 内 容
1 会議費	105,000	0	60,500	△ 44,500	幹事会、総会資料印刷製本費
2 事業費	1,174,000	0	638,280	△ 535,720	
(1) 研修費	736,000	0	513,300	△ 222,700	研修会、全国集会参加費
(2) 旅 費	238,000	0	0	△ 238,000	
(3) 啓 発 費	200,000	0	124,980	△ 75,020	プロジェクター
3 事務費	140,000	0	111,468	△ 28,532	
(1) 通信運搬費	100,000	0	82,740	△ 17,260	切手、レターパック
(2) 消耗品費	40,000	0	28,728	△ 11,272	事務用消耗品
4 負担金	11,000	0	10,220	△ 780	鳥取県研究集会負担金
5 予備費	170,000	0	0	△ 170,000	
合 計	1,600,000	0	820,468	△ 779,532	

(収入) 1,592,031円 - (支出) 820,468円 = 771,563円は、次年度へ繰り越す。

(2) 補助事業会計収支決算

収入の部

(単位：円)

費 目	予算額 (A)	決算額 (B)	比較増減 (B-A)	決 算 額 の 内 容
1 補助金	330,000	320,000	△ 10,000	米子市補助金
2 雑 入	0	1	1	預金利息
合 計	330,000	320,001	△ 9,999	

支出の部

(単位：円)

費 目	予算額 (A)	決算額 (B)	比較増減 (B-A)	備 考
1 事業費	330,000	320,000	△ 10,000	独自研修開催に係る経費
合 計	330,000	320,000	△ 10,000	

(収入) 320,001円 - (支出) 320,000円 = 1円は、次年度へ繰り越す。